

【入学式 ～晴れやかに、「チーム・ノース」の始動～】

花曇(はなぐもり)の穏やかな空模様となった4月7日(火)、入学式を挙行いたしました。校庭の鮮やかな緑と、踏みとどまって花を残してくれた桜が、59名の新入生を温かく迎え入れているようでした。教職員、そして2・3年生一同、この日を心から待ち望んでいました。

担任を先頭に体育館へ入場する新入生たちの表情には、期待と緊張、そして少しの不安が入り混じっているように見えました。しかし、式に臨む態度は大変立派なものでした。姿勢を崩すことも、私語をすることもなく、中学生としての自覚に満ちた素晴らしい門出となりました。

校長式辞では、新入生に向けて次の二つのことを伝えました。

○「自分で考え、楽しみながら挑戦してほしい」

○「相手を思いやる優しい心をもってほしい」

真剣なまなざしで話を聞く生徒たちの姿に、これからの3年間の成長がますます楽しみになりました。時には壁にぶつかることもあるかもしれませんが、共に学ぶ仲間や先生と一緒に、一步一步、着実に前進していきましょう。

保護者の方に向けたメッセージは以下の通りです。原文のまま掲載させていただきます。



保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。

今日から、皆様が愛情を注ぎ、大切に育ててこられたお子様を三年間お預かりします。

一人一人の個性を大切に、心に種をまきながら、心身ともに健やかに成長できるよう、教職員一丸となって努力してまいります。

そのためにも、学校とご家庭が同じ方向を向いて、宝物である子供たちの成長を支えていくことが何より大切です。本校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

中学校の三年間は、子供たちが大人へと大きく変化する、かけがえのない時期です。小さな成長をたくさん見つけ、一緒に驚いたり、喜んだりしてあげてください。「いつも自分を見守り、大切にしてくれる家族がいる」という安心感こそが、子供にとって一番の「お守り」になるはずです。

これからの毎日、子供たちの命と安全を守り、未来を切り拓く力を育ていけるよう、全教職員が全力で向き合うことをお誓いし、式辞といたします。

私が特に伝えたいのは、「**学校と家庭が同じ方向を向く**」ということと「**成長を見つけ、共に喜び、認める**」ということです。



私たち教職員は、一人ひとりの生徒に全力で向き合います。保護者の皆様と学校は「子供をより良く成長させたい」という同じ願いを持つパートナーです。今後、もし学校の指導に疑問を感じる事があれば、ぜひ直接ご相談ください。根底にある思いを共有し、共に手を取り合っていければ幸いです。

また、子供の成長スピードは一人ひとり違います。誰かと比べるのではなく、「昨日より今日、成長したところ」を見つけてあげてください。それを「認め・励まし・ほめる」ことで、子供たちは自信と意欲を高めていきます。

入学式を終え、中学校生活の第一歩が順調に踏み出せました。今後も家庭と学校が絶えず連携を図り、子供たちの健やかな成長を支えていけるよう、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。